

修士論文に向けて

南山大学大学院 数理情報研究科
数理情報専攻 ソフトウェア工学専修
M2012MM002 朝倉知也
指導教員 青山幹雄

シナリオ

1. 研究概要
2. 前回の質疑
3. プロトタイプと例題
4. 今後の予定

研究概要

研究課題

- 変更要求の共通モデルを各拠点間で連携管理
 - ✓ Webを介して管理可能な変更要求の共通的表现
 - ✓ 変更要求の統一的な時系列管理方法

提案方法

- IEEE std. 828-2005 と OSLC_CM のプロパティをマッピング
 - ✓ 変更要求の標準モデルのWebを介した管理を実現
- TRSを用いた変更要求管理システムのアーキテクチャを提案
 - ✓ 各拠点毎に変更要求リソースを時系列で管理
 - ✓ 開発拠点間で変更要求リソースを連携可能

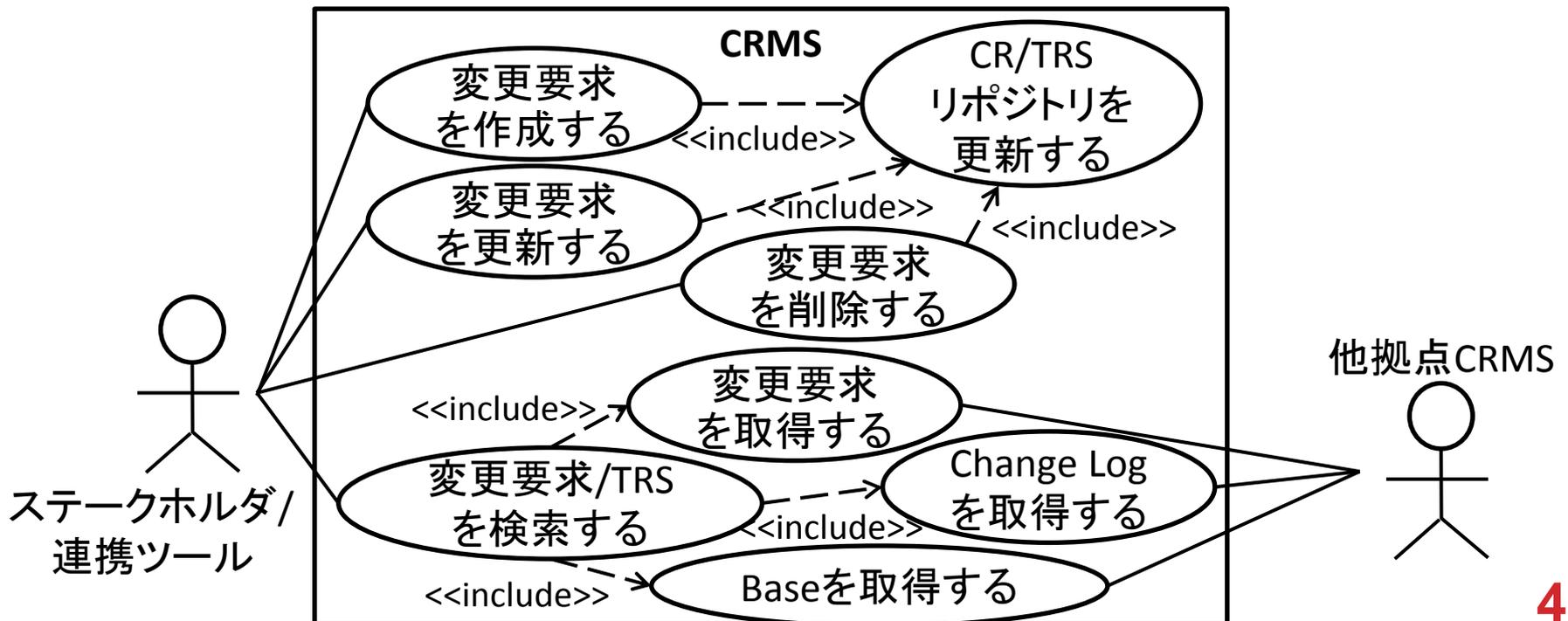
今後の課題

- 複数拠点の時系列に基づいた変更要求一覧の作成
- TRSで変更要求の種類等を管理し、検索対象を削減
- プロトタイプの実装と例題への適用による提案アーキテクチャの評価

プロトタイプ

- ユースケースと必要な追加機能

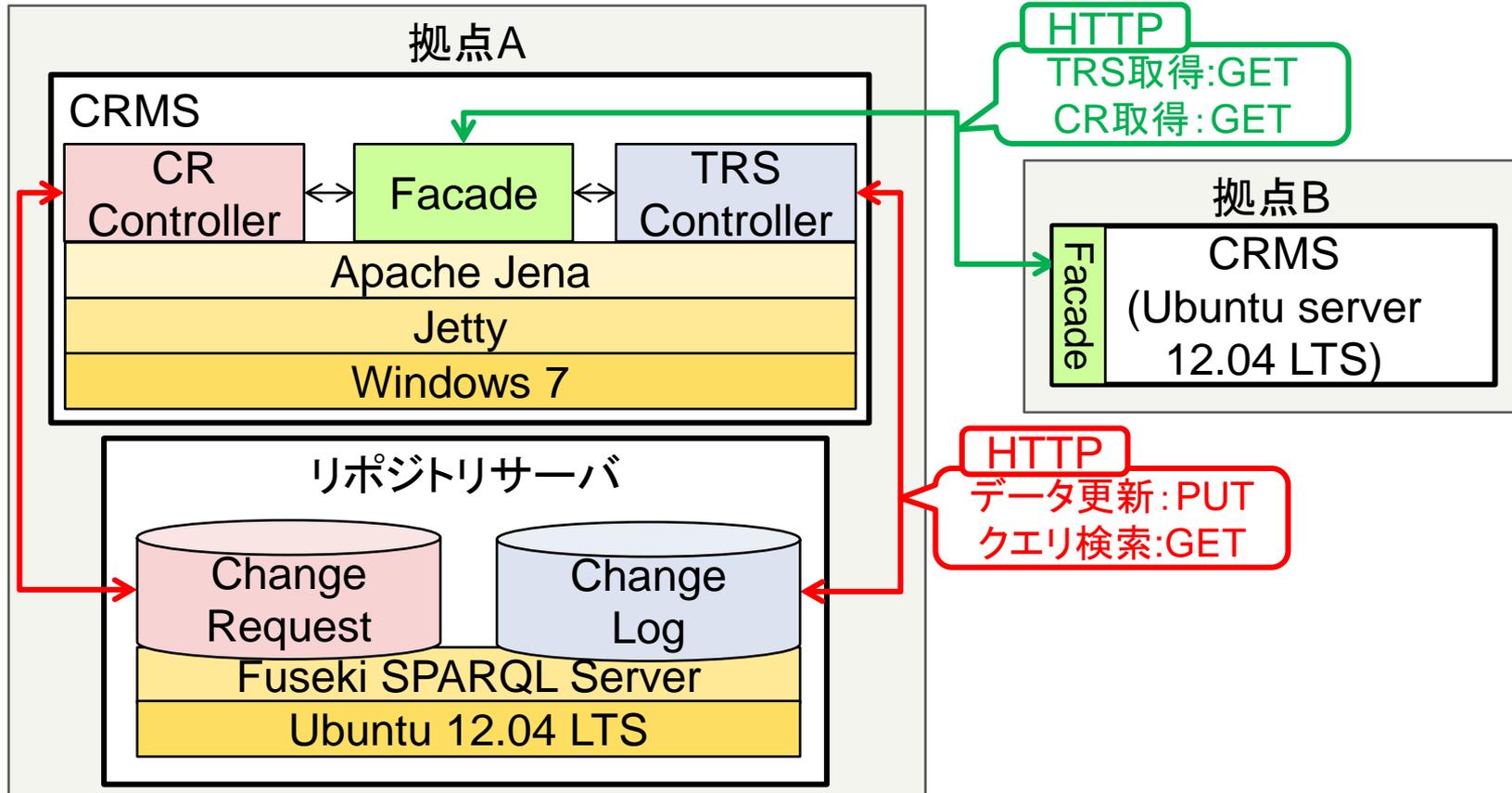
ユースケース	必要な追加機能	実装の進捗
変更要求を作成/更新/削除する	CR/TRSリポジトリ連携	済
変更要求/TRSを検索する	クエリ検索	済
	一覧表示	済



プロトタイプ

- プロトタイプ全体図

ユースケース	必要な追加機能	実装コンポーネント
CR作成/更新/削除	CR/TRSリポジトリ連携	TRS/CR Controller
検索	クエリ検索	Facade
	一覧表示	Facade



前回の質疑

- 開発拠点ごとに分散している開発リソースの単位と形式
 - 変更要求からはURIとしてプロパティに登録

```
...(略)...  
<rdf:subject rdf:resource="http://localhost:8082/org.eclipse.lyo.rio.trs/rest/changeRequests/1"/>  
  <rdf:predicate rdf:resource="http://open-services.net/ns/cm#relatedChangeRequest"/>  
    <rdf:object rdf:resource="http://example.com"/>  
...(略)...
```

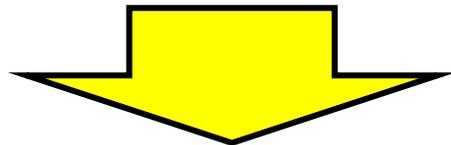
⇒ URIで参照できるリソースであること

- リソースの種類: 開発に関する様々な形式を想定
(要求仕様書, ソースコード, テストケース等)

- 変更要求が持つトレースの作成方法
 - 変更要求作成時に指定
 - ✓ どこから参照する? ⇒ 前提条件を明確にする必要

プロトタイプと例題

- プロトタイプと例題を用いて検証すべき点
 - 提案した共通的变化要求の妥当性
 - ✓ Webを介した操作・管理(REST操作)が可能か
 - ✓ 变化要求の状態やトレースを適切に保持できるか
 - 提案したアーキテクチャの妥当性
 - ✓ 複数の共通的变化要求を管理可能か
 - ✓ 複数拠点間で時系列に基づいたリソース管理が可能か

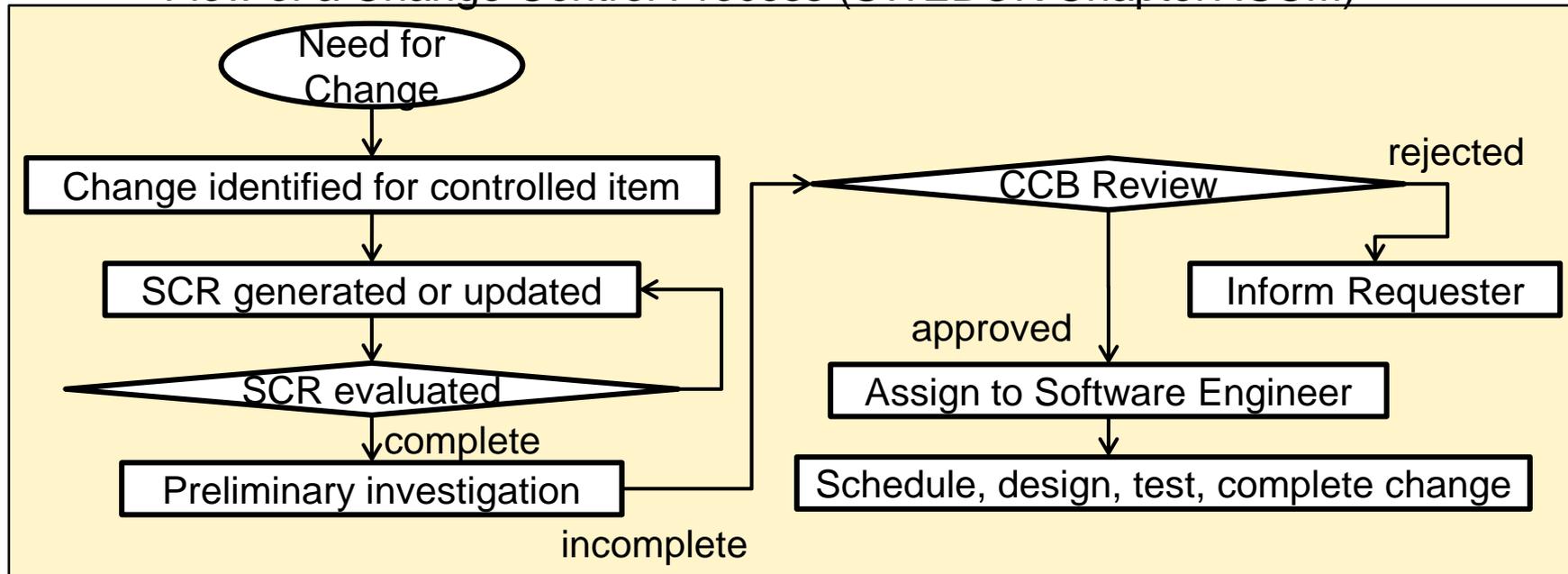


- 2つの例題を用いる
 - ✓ 例題1: 变化要求処理プロセスに沿った処理
 - ✓ 例題2: 複数拠点間の变化要求参照

プロトタイプと例題

- Webを介して管理可能な変更要求の共通的表現
 - 課題: Webを介して操作/管理できる変更要求の共通モデルが未定義
 - 解決法: IEEE Std 828を変更要求の共通モデルとし, Webを介して管理可能なリソースを定義しているOSLC CMプロパティとマッピング
 - 検証方法: マッピングした共通的変更要求モデルに対し, 変更要求処理プロセスがWebを介してプロトタイプ上で実行可能か

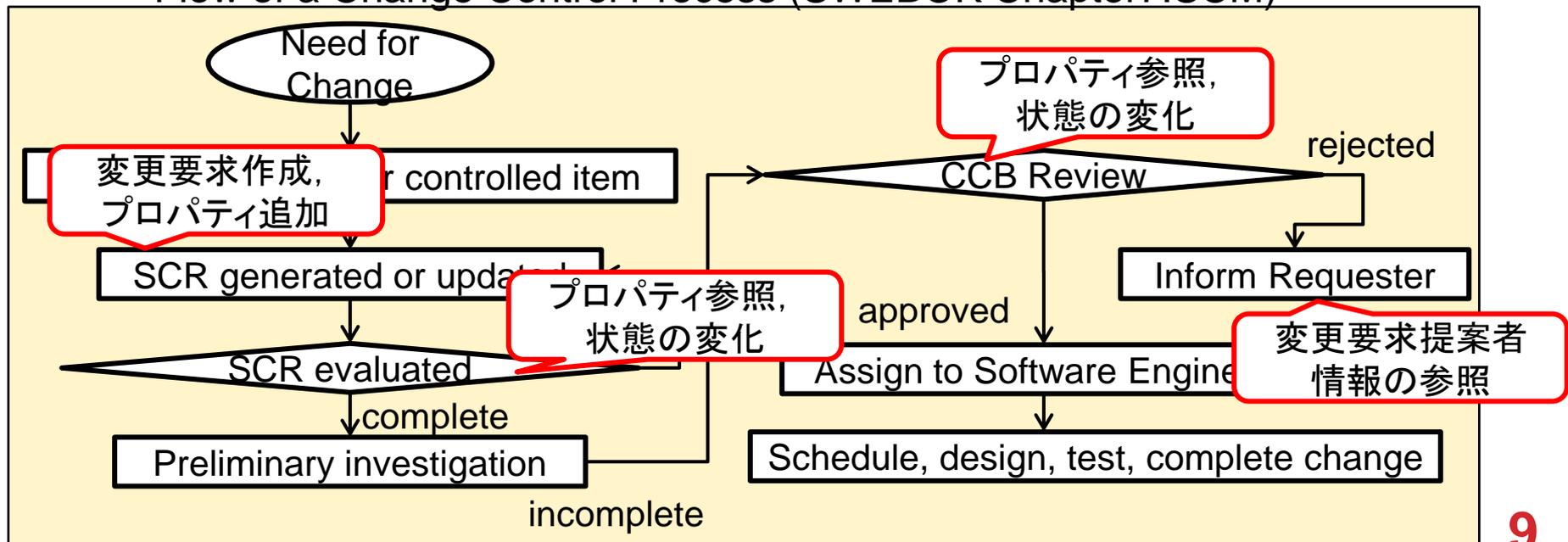
Flow of a Change Control Process (SWEBOK Chapter7:SCM)



プロトタイプと例題

- Webを介して管理可能な変更要求の共通的表现
 - 課題: Webを介して操作/管理できる変更要求の共通モデルが未定義
 - 解決法: IEEE Std 828を変更要求の共通モデルとし, Webを介して管理可能なリソースを定義しているOSLC CMプロパティとマッピング
 - 検証方法: マッピングした共通の変更要求モデルに対し, 変更要求処理プロセスがWebを介してプロトタイプ上で実行可能か

Flow of a Change Control Process (SWEBOK Chapter7:SCM)



今後の予定

1. 例題の適用と評価(～12/26)

- ✓ 例題1と例題2について検討
- ✓ 現状で実現できていない点, 提案により可能になる点, などを明確に

2. 本稿執筆

修士論文に向けて

END

南山大学大学院 数理情報研究科
数理情報専攻 ソフトウェア工学専修
M2012MM002 朝倉知也
指導教員 青山幹雄